

# LB ドライブワークス 9 体験版の使用方法およびバックアップ先の確認方法

この資料では、LB ドライブワークス 9 体験版の使用方法および動作確認の方法をご紹介します。

## 1. はじめにご確認ください。

### ●体験版の制限と注意事項(予めご了承頂きますようお願いいたします。)

- 本プログラムは、お持ちの環境で『LB ドライブワークス 9』が使用可能かどうかを確認するためのプログラムです。
- 本プログラムでは、パーティション操作、バックアップ/復元、コピー、抹消の処理を実行することはできません。
- 本プログラムに関して、ユーザサポートはお受けしていません。
- 本プログラムのご利用による直接的、間接的に発生した損害に対して株式会社ライフポートはいかなる責任も負いません。

### ●動作環境

<体験版をインストールする場合に必要なシステム>

- 対応機種: PC/AT 互換機、NEC NX シリーズ  
(NEC PC-9800、PC-9821 シリーズ、Macintosh では動作しません)
- 対応 OS: Windows 2000 Professional/XP/Vista
- 対応 CPU: Pentium 以上のインテル互換 CPU (300MHz 以上推奨)  
※ Vista の場合は 1GHz 以上
- ハードディスクの空き容量: 70MB 以上
- メモリ: 128MB 以上 ※ Vista の場合は 1GB 以上
- ドライブ: 起動可能な CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブ  
※ CD 起動による使用及び緊急時に使用する起動 CD の動作確認を行う場合には、書き込み可能なドライブと空きメディア (CD-R/RW) が 1 枚必要になります。
- モニタ: SVGA モニタ

### ●注意事項

- Windows 系のサーバ OS には対応していません。
- ダイナミックディスク、Linux の LVM には対応していません。
- Red Hat Enterprise Linux 4(RHEL4), Fedora Core 4 以降がインストールされている Ext3 パーティションのサイズ変更を伴う復元/コピーには対応していません。
- BIOS が大容量ハードディスクに対応していない PC では、正常にハードディスクを認識できない場合があります。
- 製品 CD から起動してお使いいただく際は、CD から起動できる BIOS が搭載されている必要があります。
- お使いのハードウェアによっては、製品 CD から起動して使用できない場合があります。
- NEC PC-9800, PC-9821, Macintosh でフォーマットされたハードディスクのコピーは行えません。
- ハードディスク/パーティションのコピー機能は、リムーバブル メディア(DVD, MO, Zip, JAZ など)には対応していません。
- パーティションのスケジュール コピーは、コピー前にコピー先のパーティションを削除しておく必要があります。
- コピー元のハードディスクに不良セクタなどのエラーが存在すると、正常にコピーができない場合があります。
- コピー先のハードディスクから起動する場合には、ハードディスク単位でコピーする必要があります。
- ほとんどの OS は、USB/IEEE1394 接続の外付けドライブからの起動を標準でサポートしていないため、内蔵ハードディスクの内容を外付けドライブにコピーしても、外付けドライブから OS を起動することはできません。
- 差分バックアップは、基本パーティションまたは論理パーティションのバックアップ イメージに対してのみ作成できます。ハードディスク全体のバックアップイメージに対して、差分バックアップを作成することはできません。

## 2. 事前準備

(1) 以下の URL からファイルをダウンロードします。

<http://www.lifeboat.jp/products/dw9/demo.html>

(2) ダウンロードしたファイルを展開します。以下の 2 つのファイルが確認できます。

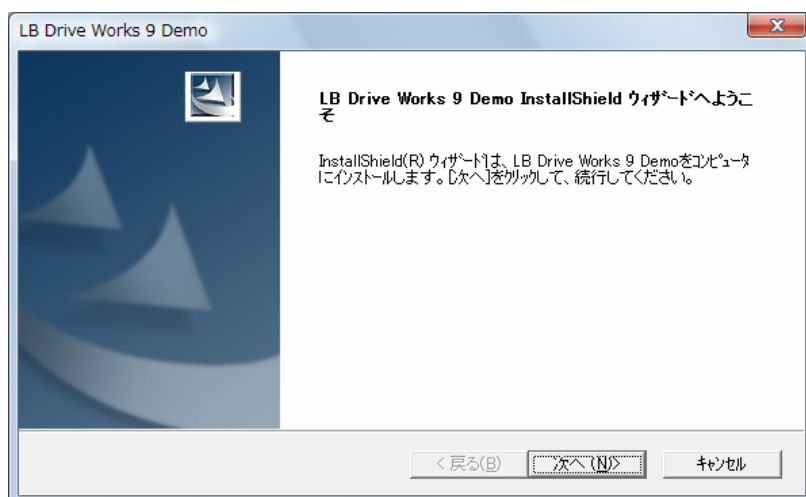
① DW9\_demo.exe                      LB ドライブワークス 9 (体験版)をインストールすることができます。

② Boot\_CD\_DW9\_demo.exe          緊急時に使用する起動 CD(体験版)を作成することができます。

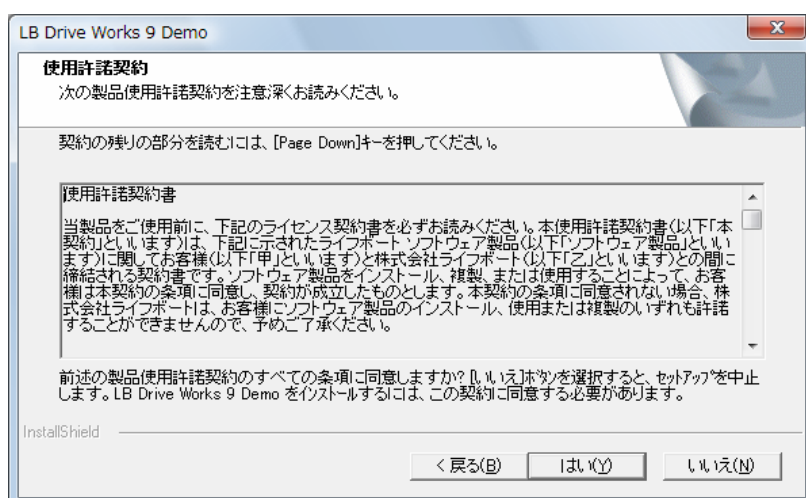
※ 書き込み用ドライブと空きメディア(CD-R/RW)が 1 枚必要です。

## 3. LB ドライブワークス 9 (体験版) のインストール

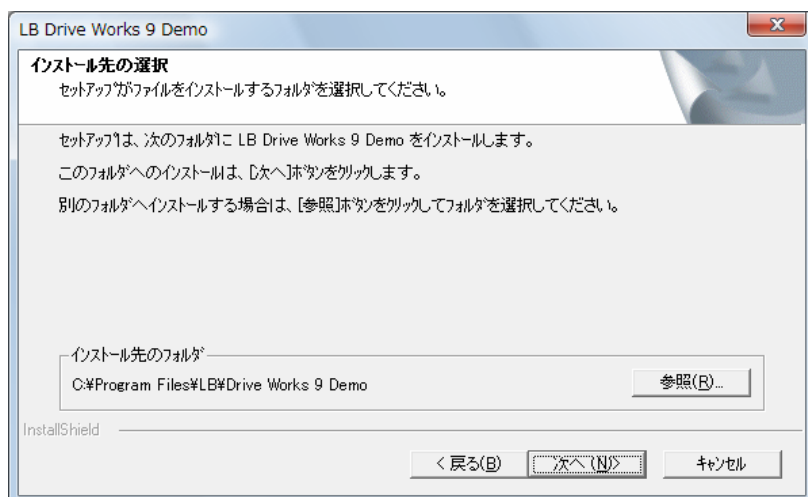
(1) 「DW9\_demo.exe」を実行すると、『LB Drive Works 9 Demo InstallShield ウィザードへようこそ』画面が表示されます。[次へ]をクリックして、処理を続行します。



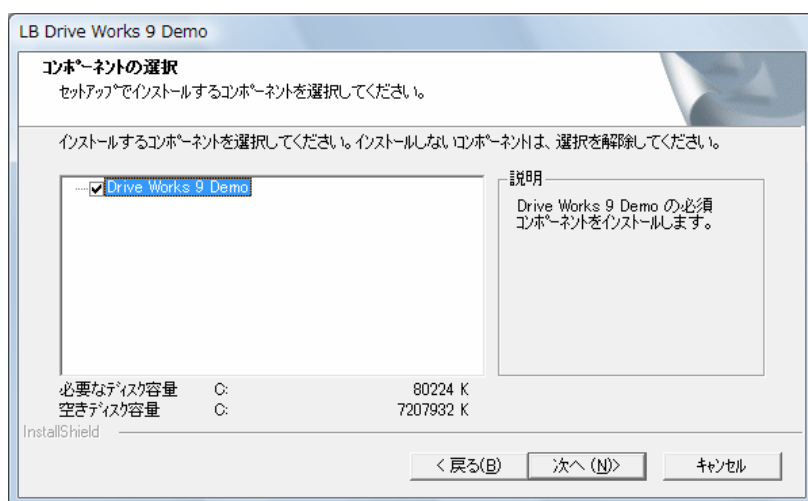
(2) 『使用許諾契約』画面が表示されます。使用許諾契約書の内容を確認して、内容に問題が無ければ、[はい]をクリックします。



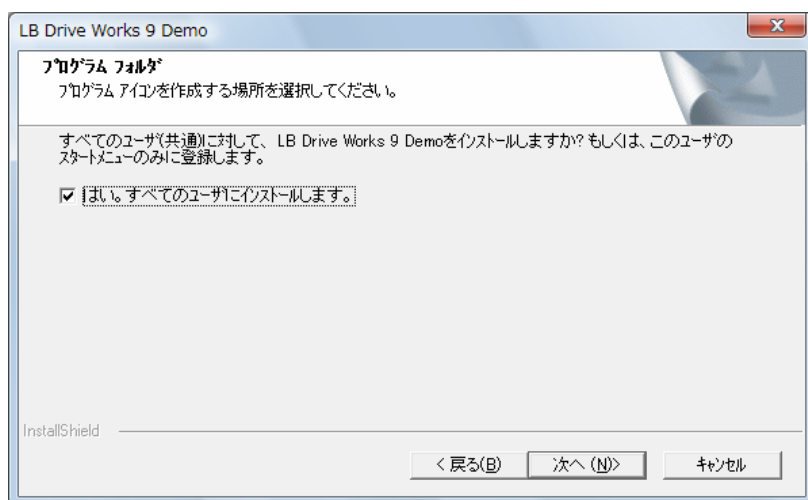
- (3) 『インストール先の選択』画面が表示されます。インストール先のフォルダを変更する必要がない場合には、[次へ]をクリックします。



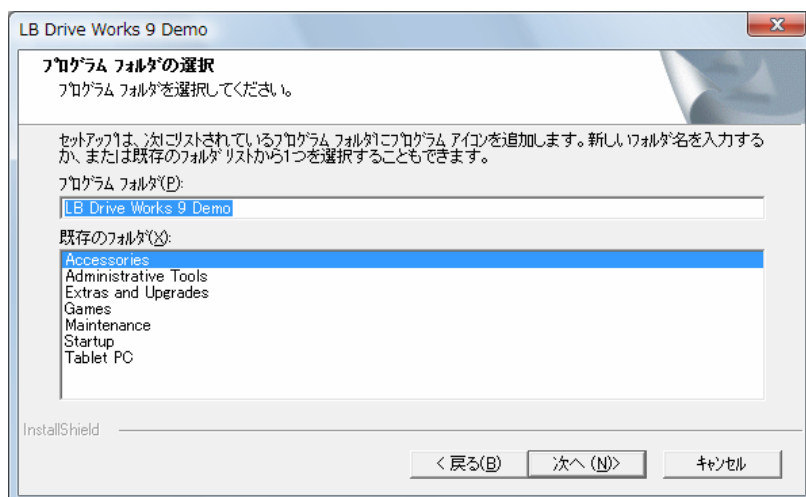
- (4) 『コンポーネントの選択』画面が表示されます。そのまま、[次へ]をクリックします。



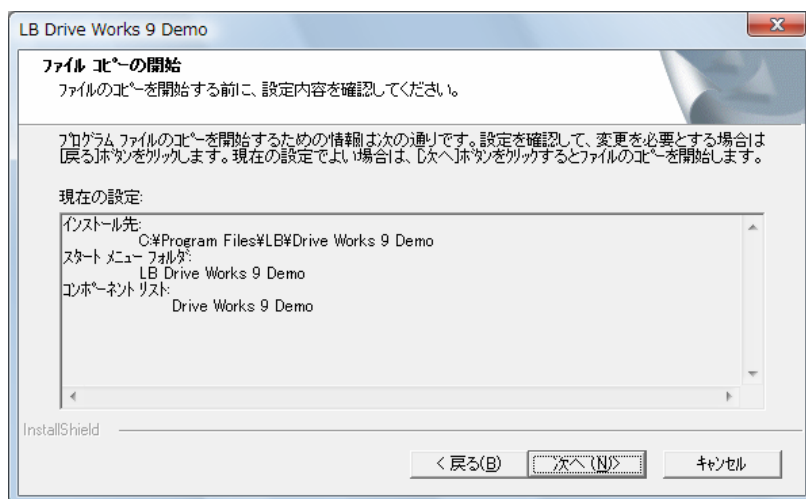
- (5) 『プログラム フォルダ』画面が表示されます。変更を行う必要がない場合には、[次へ]をクリックします。



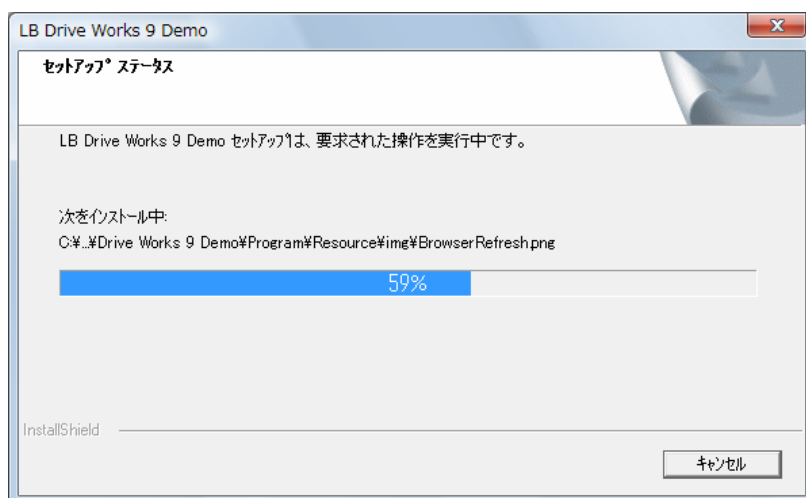
- (6) 『プログラム フォルダの選択』画面が表示されます。変更を行う必要がない場合には、[次へ]をクリックします。



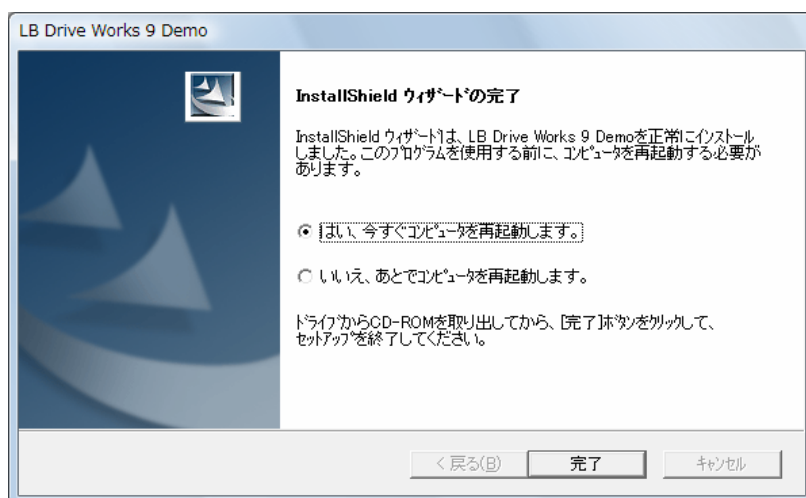
- (7) 『ファイル コピーの開始』画面が表示されます。設定内容を確認し、[次へ]をクリックします。



- (8) インストールが開始されます。



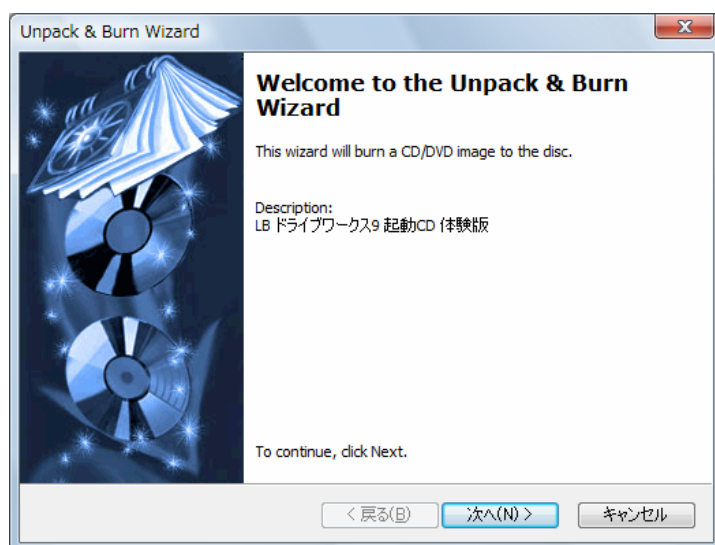
- (9) インストールが完了すると、以下の画面が表示されます。このまま再起動する場合には、[完了]をクリックしてください。すぐに再起動を行わない場合には、[いいえ、あとでコンピュータを再起動します。]を選択し、[完了]をクリックしてください。



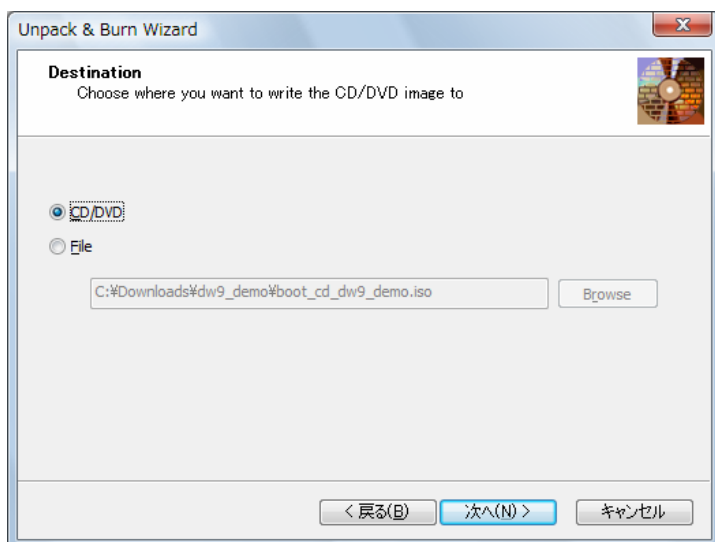
#### 4. 起動 CD(体験版)の作成方法

ここでは、主に復元時に使用する起動 CD(体験版)の作成方法についてご紹介します。作業を始める前に書き込み用の空きメディア (CD-R/RW) を 1 枚ご用意ください。

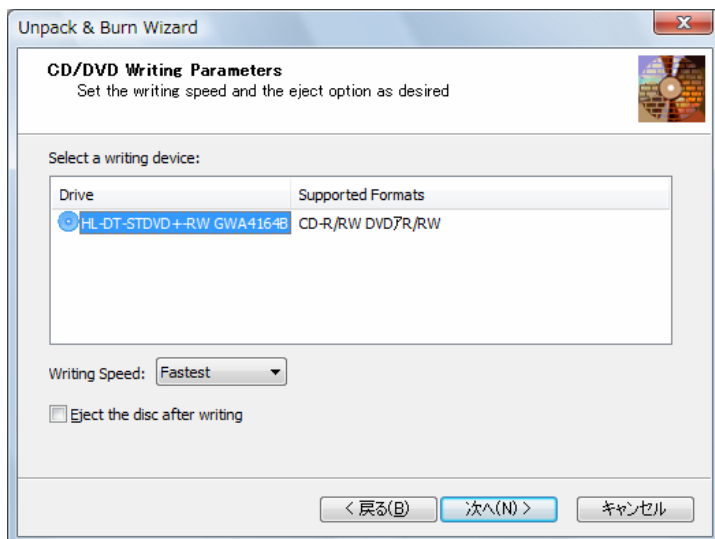
- (1) 展開後に作成されたファイル『Boot\_CD\_DW9\_demo.exe』を実行すると、以下の画面が表示されます。[次へ]をクリックします。



- (2) [CD/DVD]が選択されているのを確認して、[次へ]をクリックします。

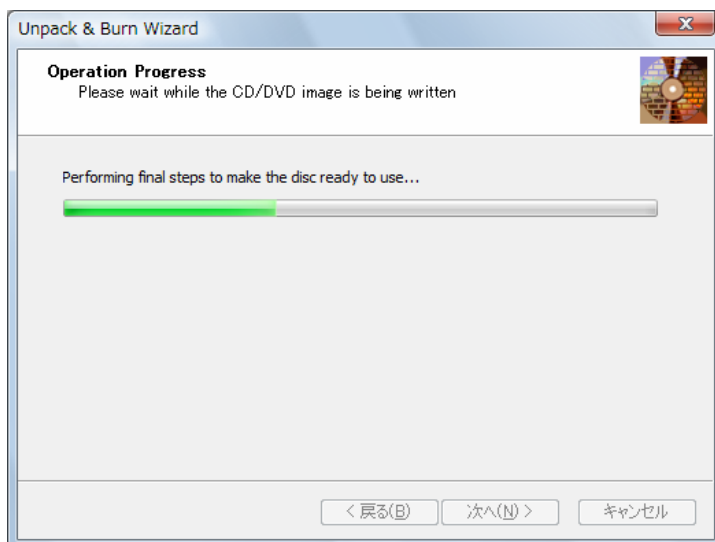


- (3) 書き込み用のドライブを選択して、ドライブに書き込み可能な CD-R/RW をセットします。[次へ]をクリックします。

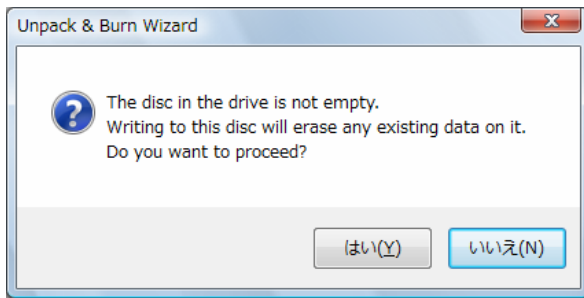


※ドライブが表示されない場合には、1つ前に戻り、[File]を選択してISOファイルを作成してください。ISOファイル作成後に、任意のCDライティングソフトを使用して、ISOファイルをCDに書き込んでください。

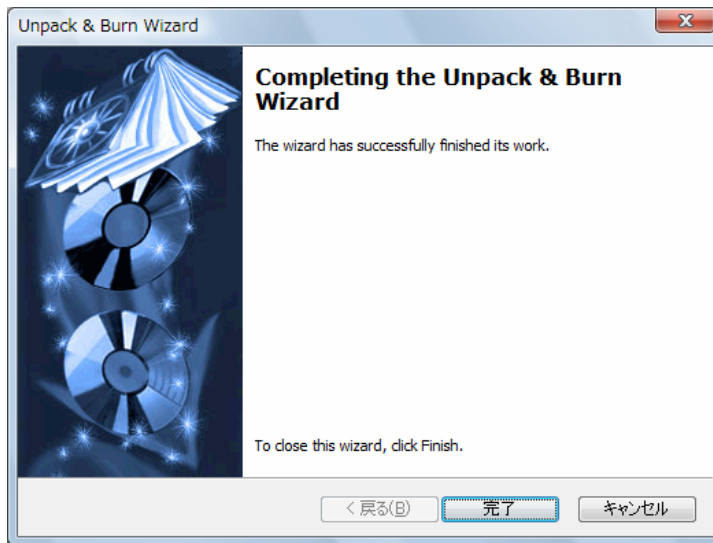
- (4) 書き込み処理を開始します。



※ CD-RW など書き換え可能なメディアを使用している場合には、ディスクの内容が削除されます。  
以下の確認画面が表示されるので、[はい]をクリックします。



(5) 書き込みが完了すると以下の画面が表示されます。[完了]をクリックして終了します。

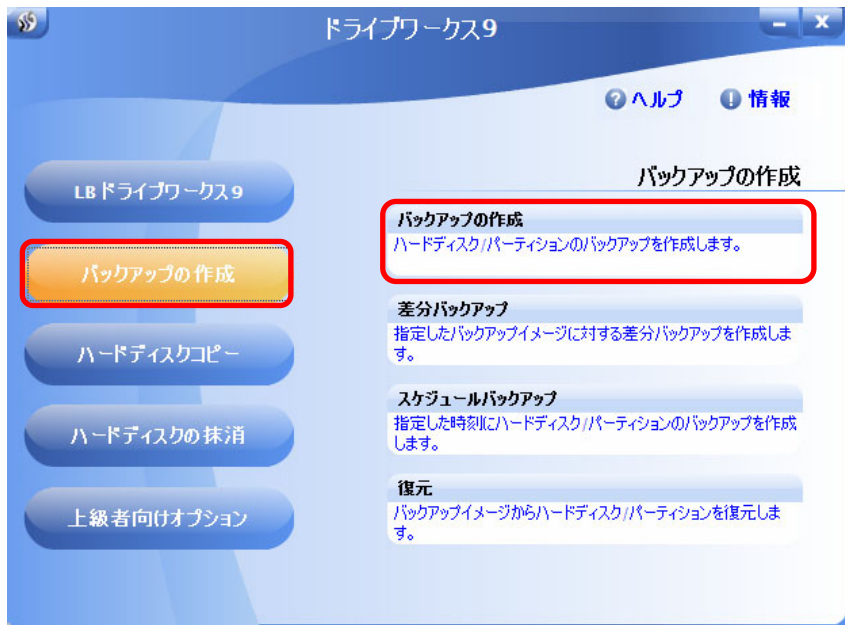


## 5. バックアップ操作の確認

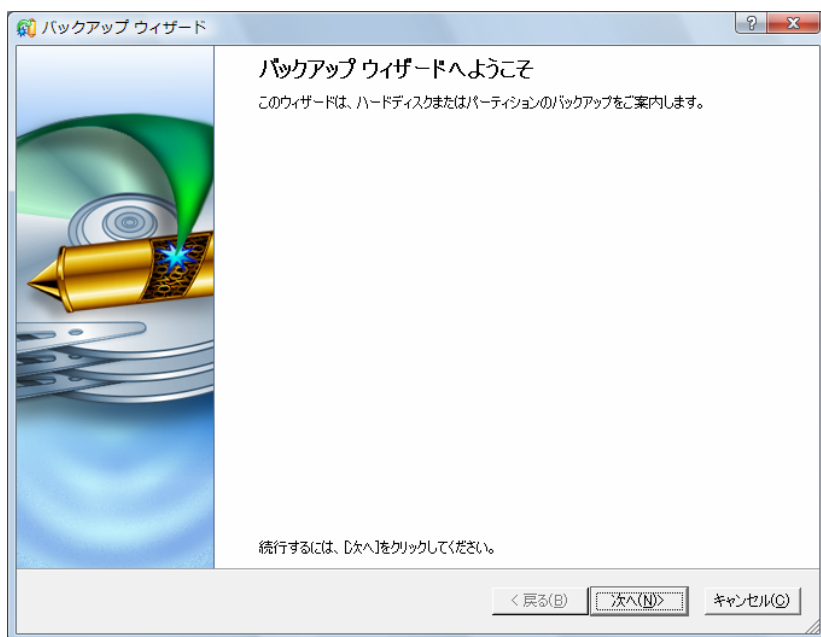
LB ドライブワークス 9 体験版を使用して、ハードディスク全体およびパーティションをバックアップする場合の操作手順をご紹介します。

※ 体験版では、実際にパーティション操作、バックアップ/復元、コピー、抹消処理を行うことはできません。

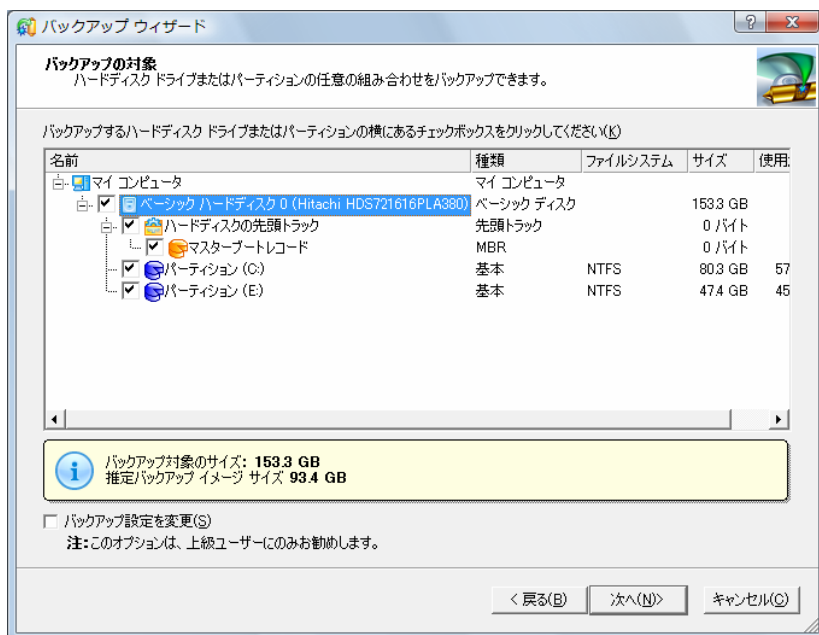
- (1) LB ドライブワークス 9 体験版を起動するには、[スタート]－[すべてのプログラム]－[LB Drive Works 9 Demo]－[LB Drive Works]の順にクリックします。
- (2) LB ドライブワークス 9 体験版が起動すると、ランチャ画面が表示されます。左側の「バックアップの作成」カテゴリのボタンをクリックしてから、右側の[バックアップの作成]をクリックします。



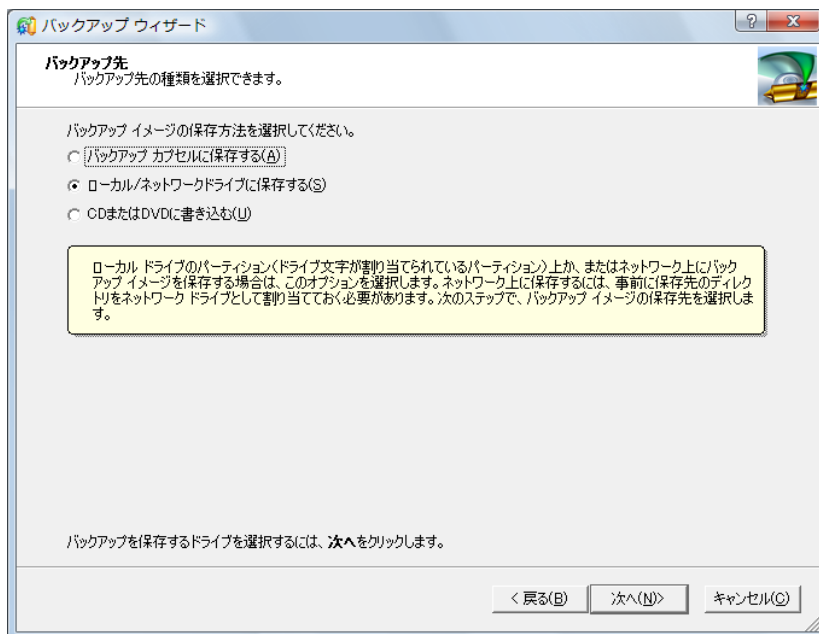
- (3) バックアップ ウィザードが起動します。[次へ]をクリックします。



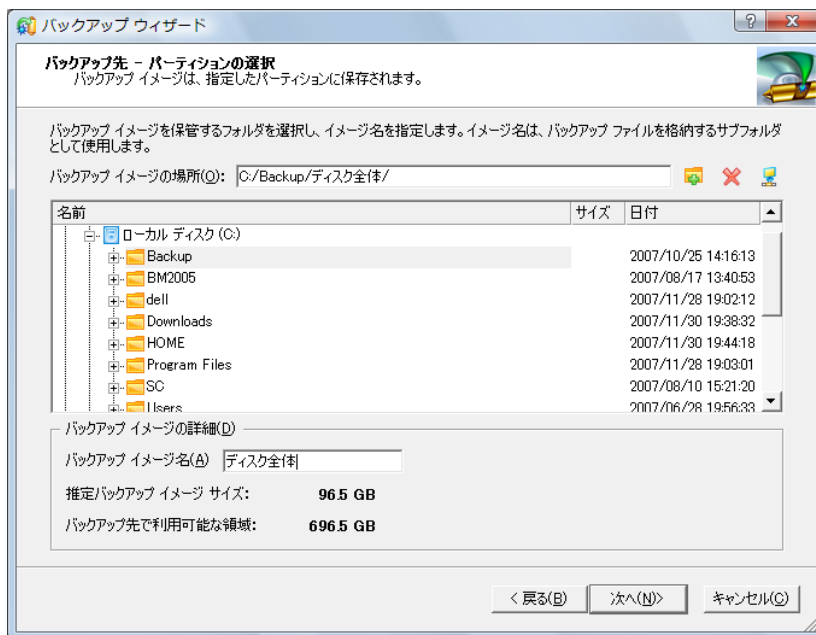
- (4) [バックアップの対象]画面では、バックアップ対象のハードディスク、もしくは論理ディスクを選択します。ドライブ全体をバックアップする場合には、ベーシック ハードディスクにチェックを入れます。選択が完了したら、[次へ]をクリックします。



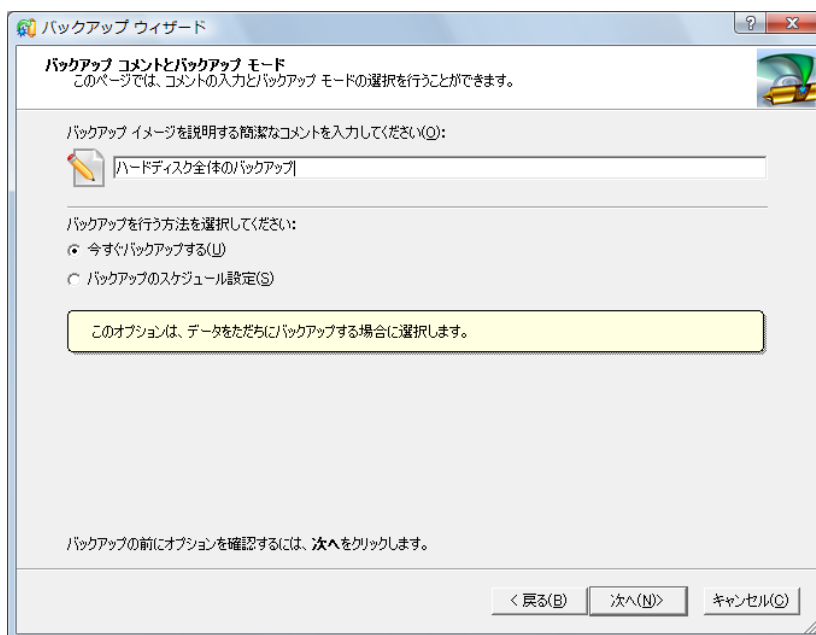
- (5) [バックアップ先]画面では、作成されるバックアップ イメージの保存先を指定します。ローカルドライブ、ネットワークドライブに保存する場合には、[ローカル/ネットワークドライブに保存する]を選択します。CD/DVD に保存する場合には、[CD または DVD に書き込む]を選択し、[次へ]をクリックします。この例では、[ローカル/ネットワークドライブに保存する]を選択しています。



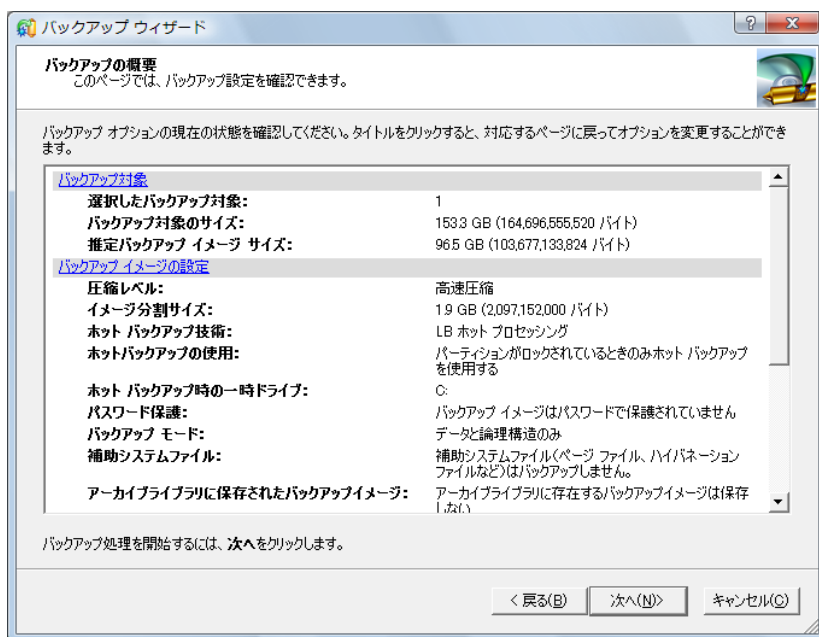
- (6) [バックアップ先 - パーティションの選択]画面では、バックアップ イメージの保存先のパーティション、フォルダを選択し、バックアップ イメージ名 (フォルダ名) を指定します。



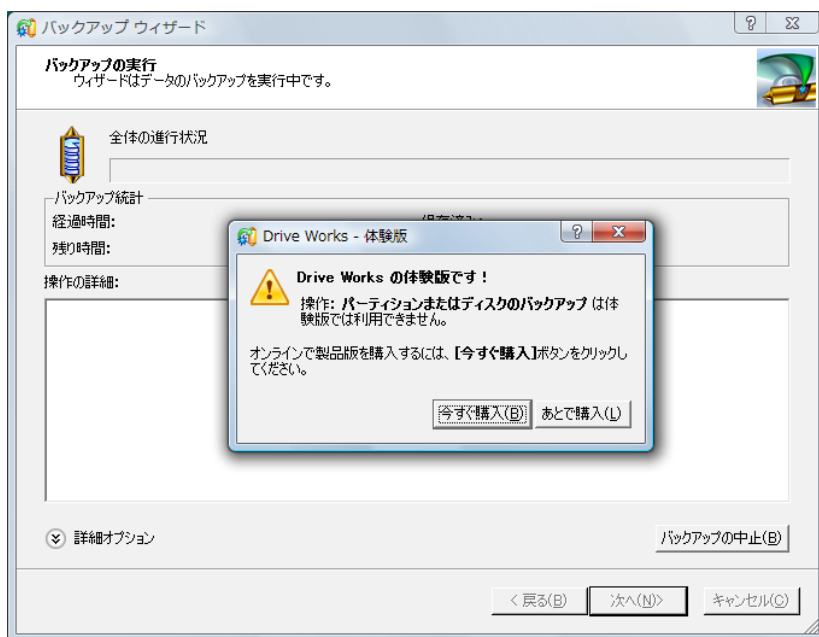
- (7) [バックアップ コメントとバックアップ モード]画面では、バックアップ イメージ ファイルのコメントを入力します。全角 16 文字以内で入力します。



- (8) [バックアップの概要]画面では、これまでに行ったバックアップ設定を確認します。修正したい箇所がある場合には、タイトルをクリックします。[次へ]をクリックすると処理が開始されます。



- (9) [バックアップの実行]画面が表示され、バックアップ処理が開始されますが、体験版では実際の処理が行われずに以下の画面が表示されます。



以上で、バックアップ操作の確認作業は終了となります。

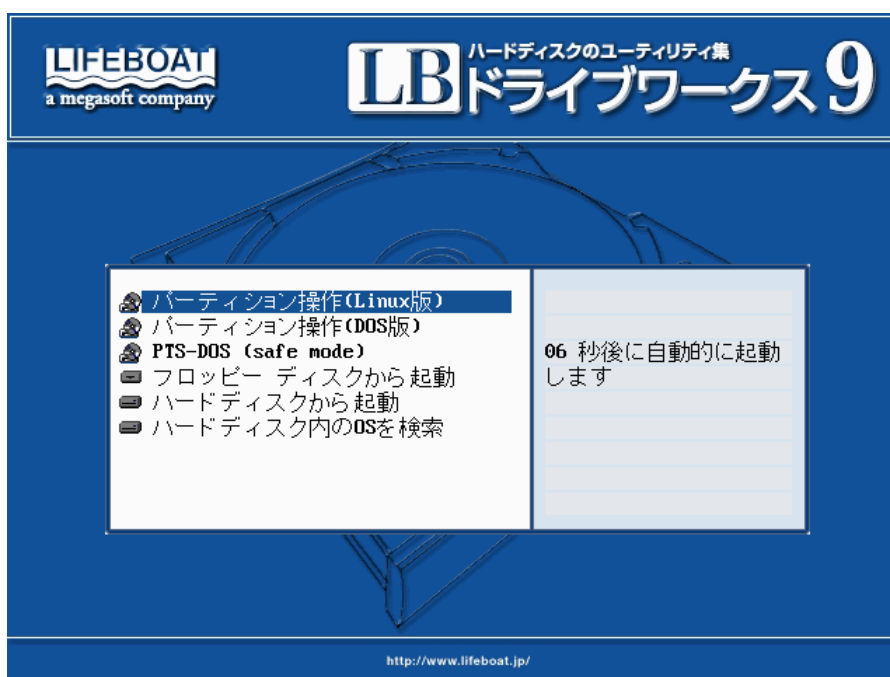
## 6. 起動 CD(LB ドライブワークス 9 製品 CD 体験版)の動作確認

基本的にパーティション操作、バックアップ/復元、コピー、抹消処理は Windows 上で行いますが、OS が起動しなくなった場合やシステムドライブを復元する場合には、起動 CD から起動して、復元などの操作を行います。製品版をご購入すれば、製品 CD がそのまま起動 CD として使用できます。予定しているバックアップ先が復元用のプログラムから参照できるのか確認してください。

※ 体験版では実際にパーティション操作、バックアップ/復元、コピー、抹消処理を行うことはできません。

### (1) 起動 CD(製品 CD 体験版)の使用方法

CD-ROM をセットして PC を再起動すれば、CD-ROM から起動(ブート)してリカバリー用のプログラムを使用することができます。起動 CD をドライブにセットし、PC を再起動(起動)します。CD から起動され、『LB ドライブワークス 9 製品 CD』の CD 起動メニューが表示されます。

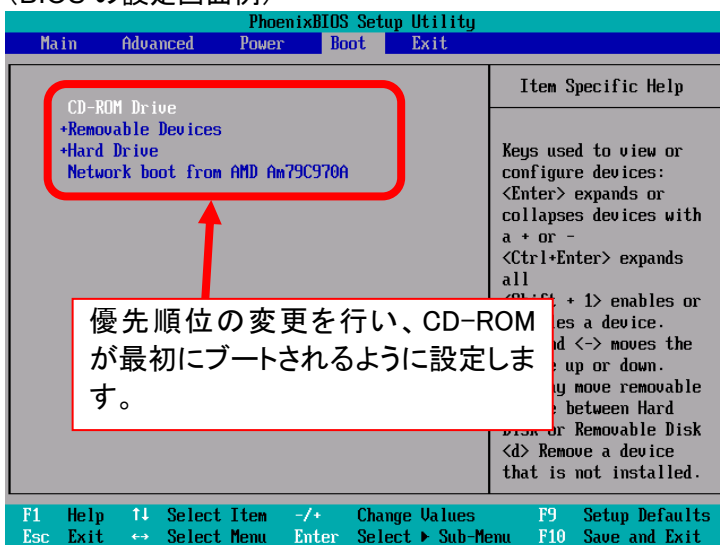


この画面が表示された場合は、そのままカウントダウンを待つか、キーボードの Enter キーを押して操作を続行します。CD 起動メニューの中から『パーティション操作(Linux 版)]を選択して、次に進んでください。

この画面が表示されずに OS が起動してしまう場合には、BIOS の設定内容を確認してください。

※ ご使用のシステムが CD-ROM ドライブからの起動をサポートしている場合でも、BIOS 設定内容によっては、CD-ROM から起動できない場合があります。ご使用のシステムのマニュアルを参照して、最初の起動デバイスが CD-ROM ドライブになるように BIOS を設定してください。

## (BIOS の設定画面例)

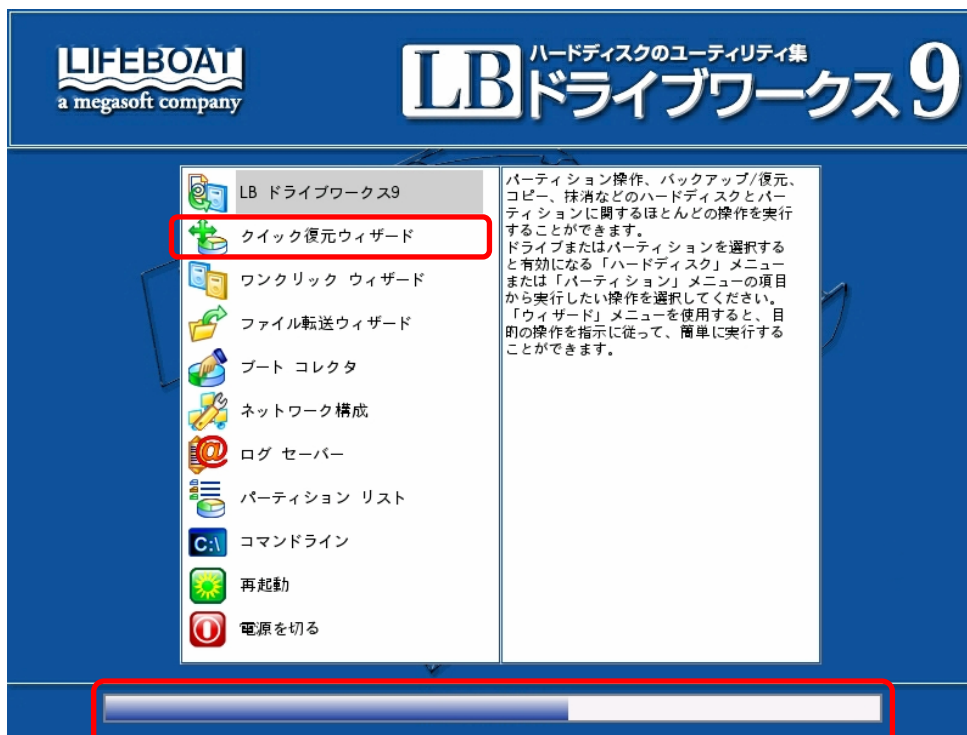


※ あくまで一例です。ご使用にPCによって画面、起動方法、操作方法が異なります。BIOS画面の設定方法についてはご使用のPCのマニュアルを確認するか、PCのメーカーにお問い合わせください。

### (2) バックアップ先の確認方法(ハードディスク、CD/DVDドライブの場合)

バックアップ先として、ハードディスク、CD/DVDドライブを利用される場合には以下の手順で確認します。

- ① 起動 CD をドライブに挿入し、PC を再起動します。CD から起動され、「パーティション操作(Linux版)」を選択すると、次のメニューが表示されるので、クイック復元ウィザードをダブルクリックします。



※ プログレス バーが消えてから操作を開始してください

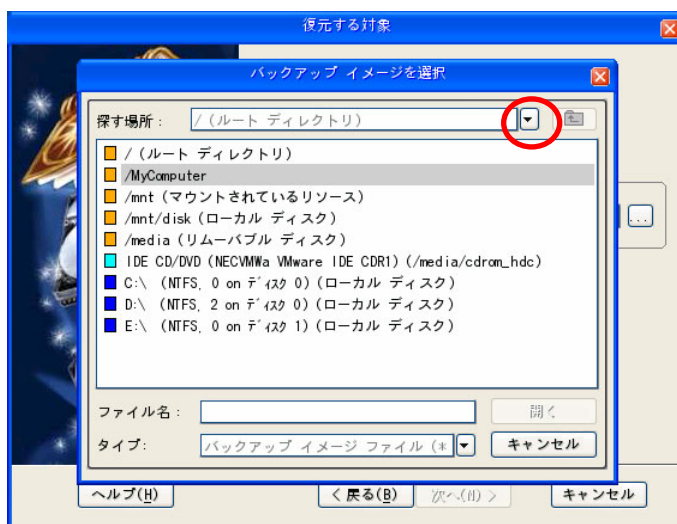
- ② ウィザードが表示されたら、[次へ]をクリックします。



- ③ 『復元する対象』画面で、右側の参照ボタンをクリックします。



- ④ 『バックアップ イメージを選択』画面が表示されます。▼ ボタンをクリックして、リストから保存を予定しているCD/DVD や、ドライブにアクセスできるのか(ドライブの内容が表示されるのか)確認します。



※ Windows 上とドライブ文字(C:など)が一致しない場合があります。確認後、[キャンセル]をクリックし、メニューに戻ります。

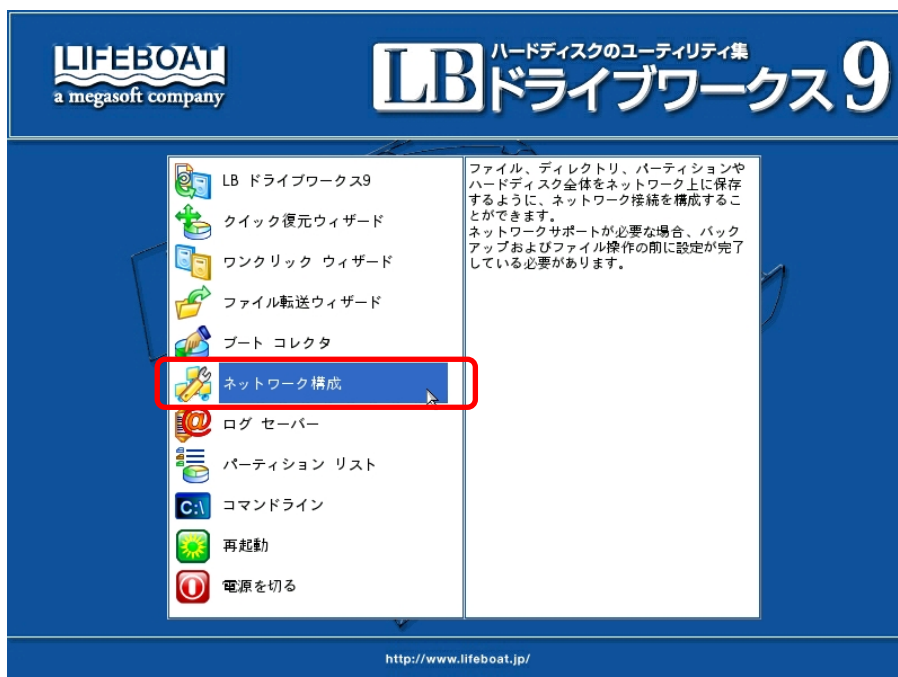
- ⑤ [キャンセル]をクリックして、『バックアップ イメージを選択』画面を閉じます。さらに[キャンセル]をクリックして、『クイック復元ウィザード』を閉じます。

以上で、確認作業は終了です。ネットワーク ドライブへのバックアップを予定している場合には、(3)に進んでください。予定していない場合には、確認作業は終了となりますので、CD を取り出し、メインメニューから[再起動]を選択します。

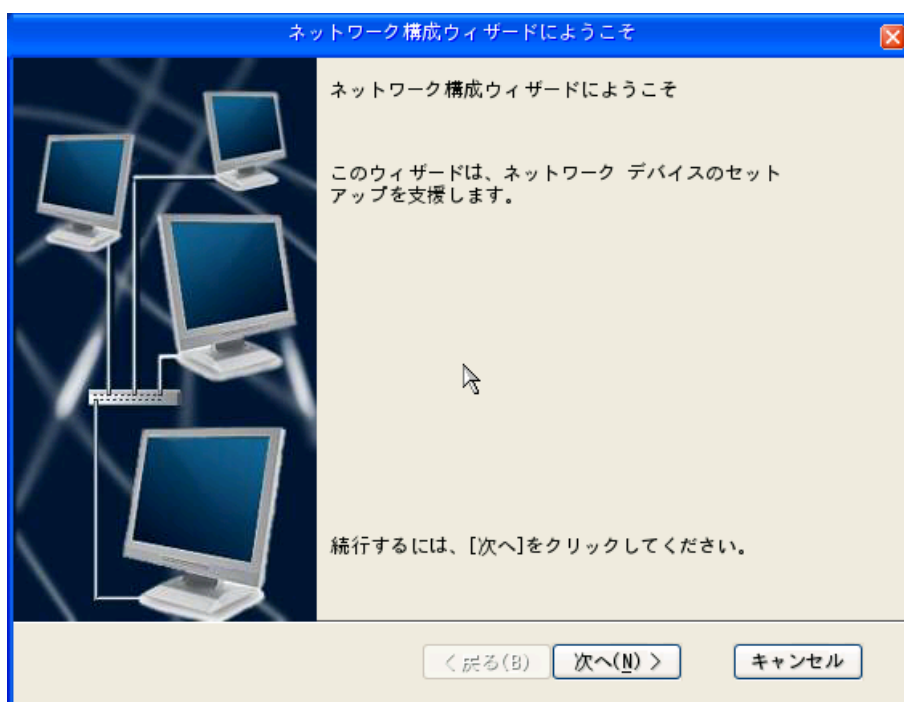
(3) バックアップ先の確認方法(ネットワーク ドライブに保存する場合)

バックアップ先に、ネットワーク ドライブを検討されている方は、以下の手順にて、保存先にアクセスできるかご確認ください。

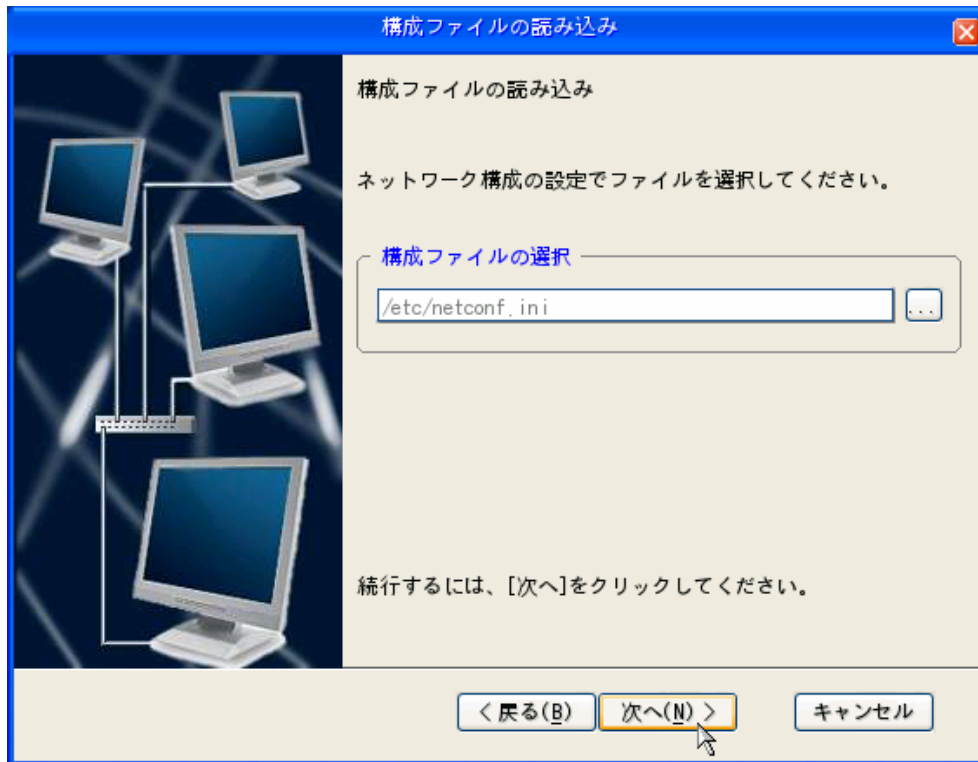
- ① メインメニューの[ネットワーク構成]をダブルクリックします。



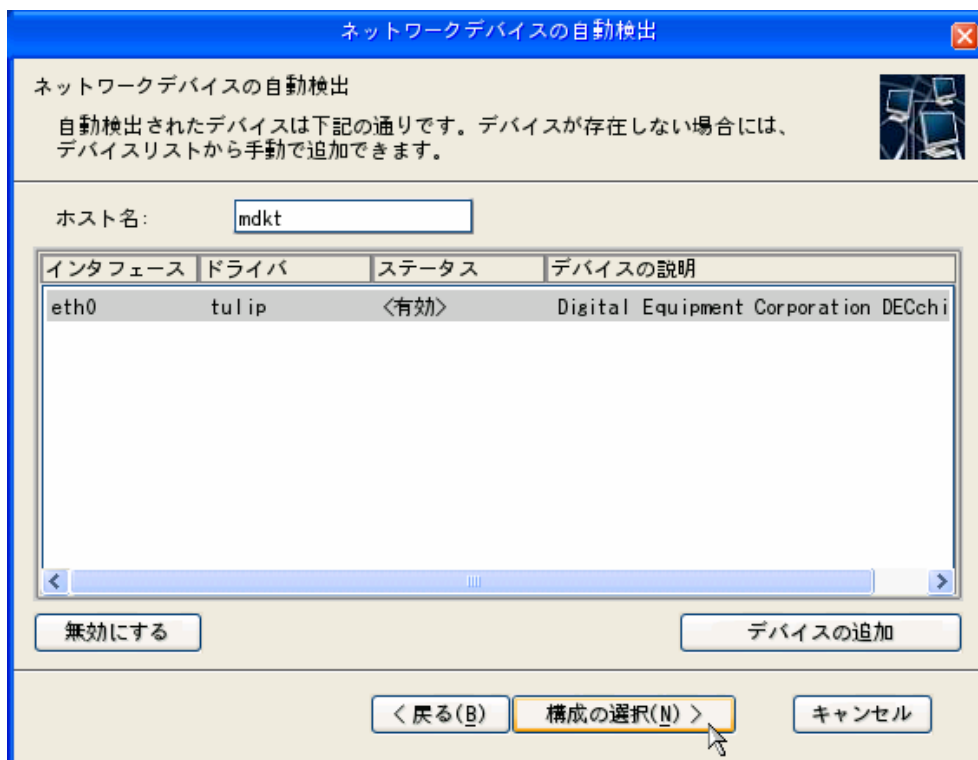
- ② ネットワーク構成ウィザードが起動します。[次へ]をクリックします。



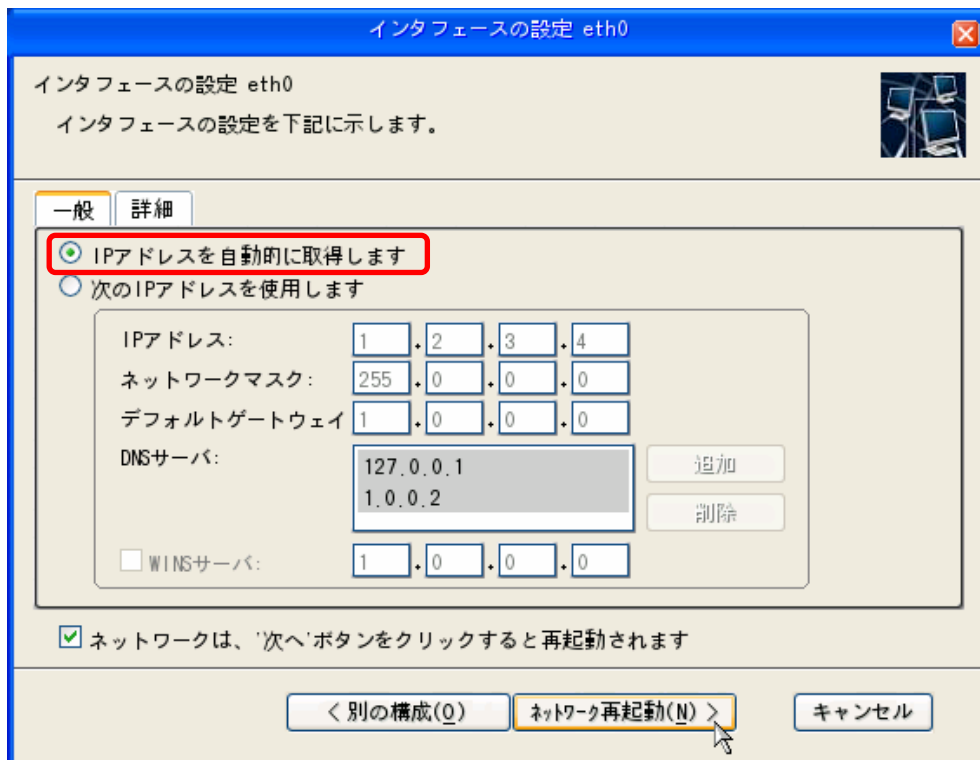
- ③ 『構成ファイルの読み込み』画面が表示されます。[次へ]をクリックします。



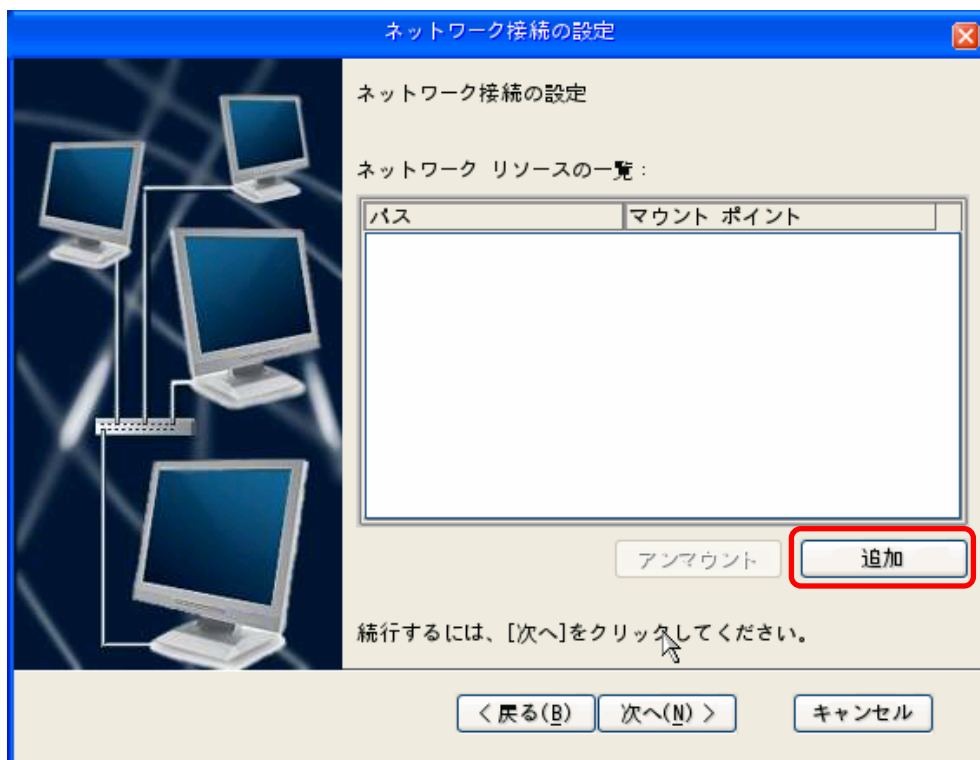
- ④ 『ネットワーク デバイスの自動検出』画面が表示されます。ネットワークデバイスが自動検出されると、リスト内にデバイスが表示されます。表示されない場合には、[デバイスの追加]をクリックし、適切なドライバを選択してください。複数のデバイスが検出された場合には、使用したいデバイスを選択して、[構成の選択]をクリックします。




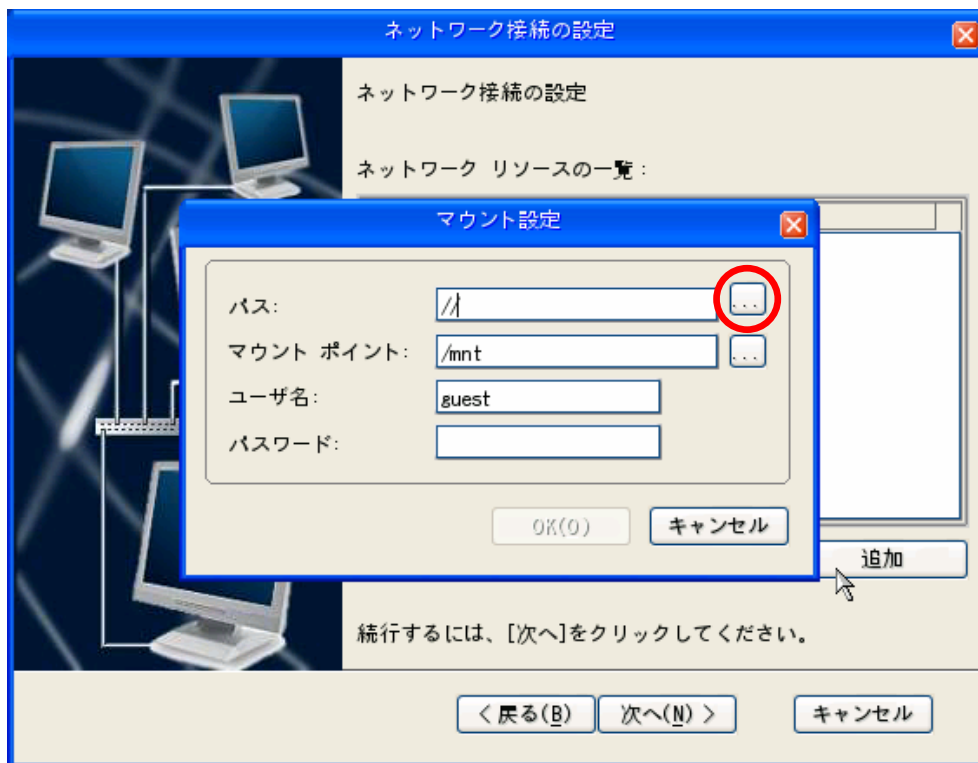
- ⑤ 『インターフェースの設定』画面が表示されます。  
通常は[IPアドレスを自動的に取得します]を選択してください。IPアドレスを指定する場合には、Windows 上での設定を参考にして各項目を設定します。[ネットワーク再起動]をクリックします。



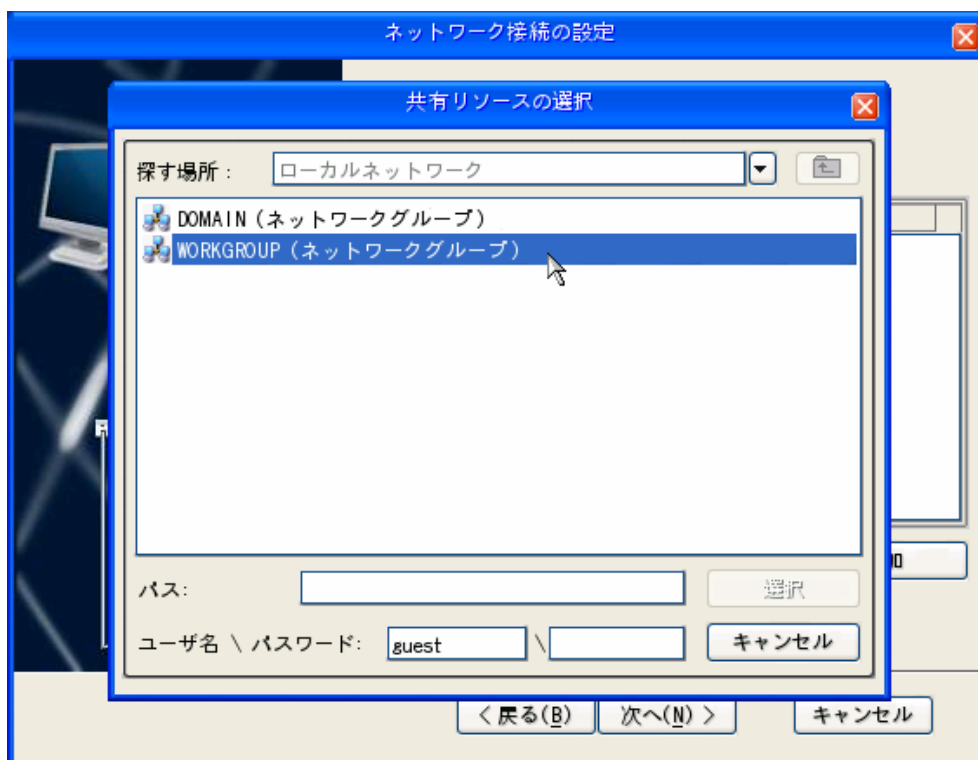
- ⑥ 『ネットワーク接続の設定』画面が表示されます。「追加」ボタンをクリックします。



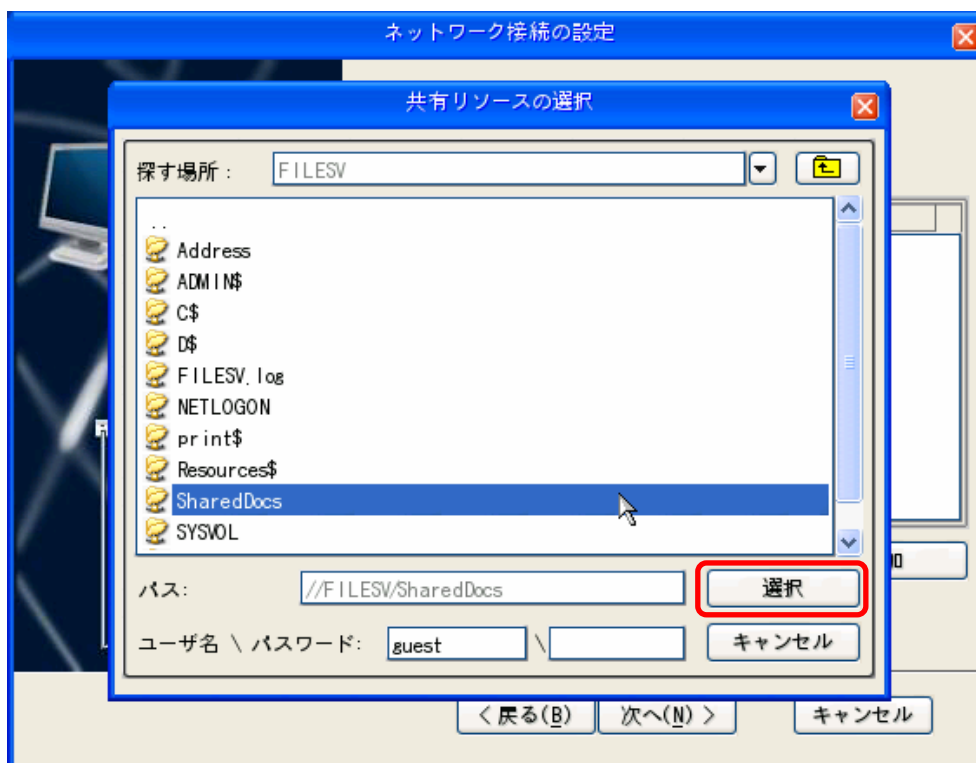
- ⑦ 『マウント設定』画面が表示されます。  ボタンをクリックします。



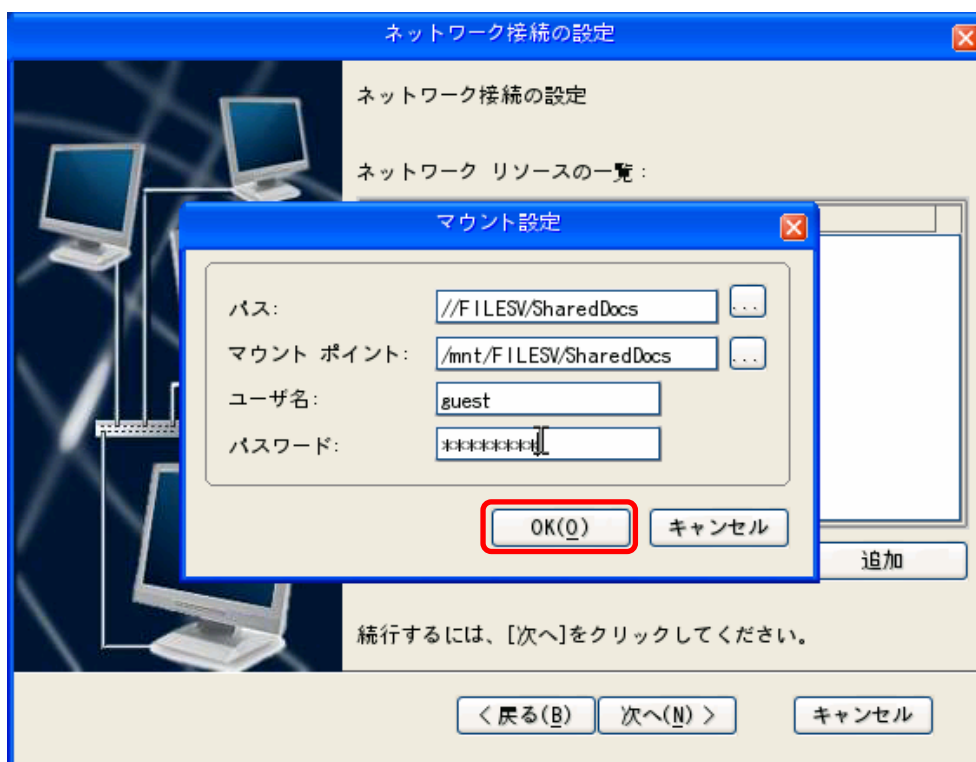
- ⑧ 『共有リソースの選択』画面が表示されるので、ネットワークグループを選択して、バックアップ先として予定しているドライブにアクセスできるのか確認します。



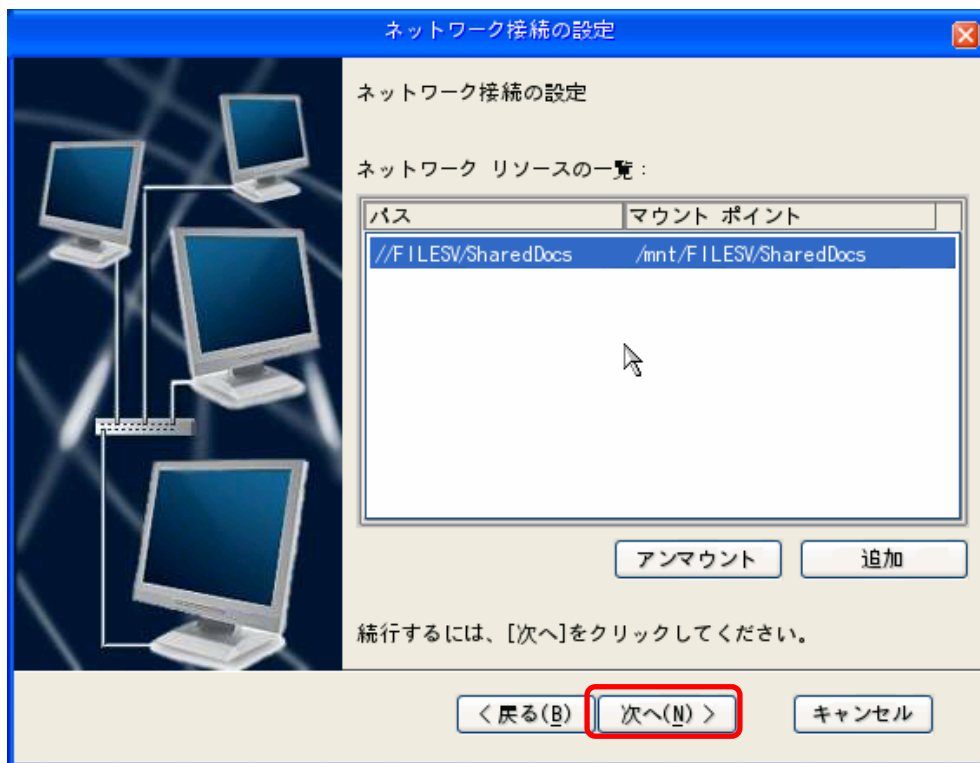
バックアップイメージの保存先のネットワークドライブを選択した状態で[選択]をクリックします。



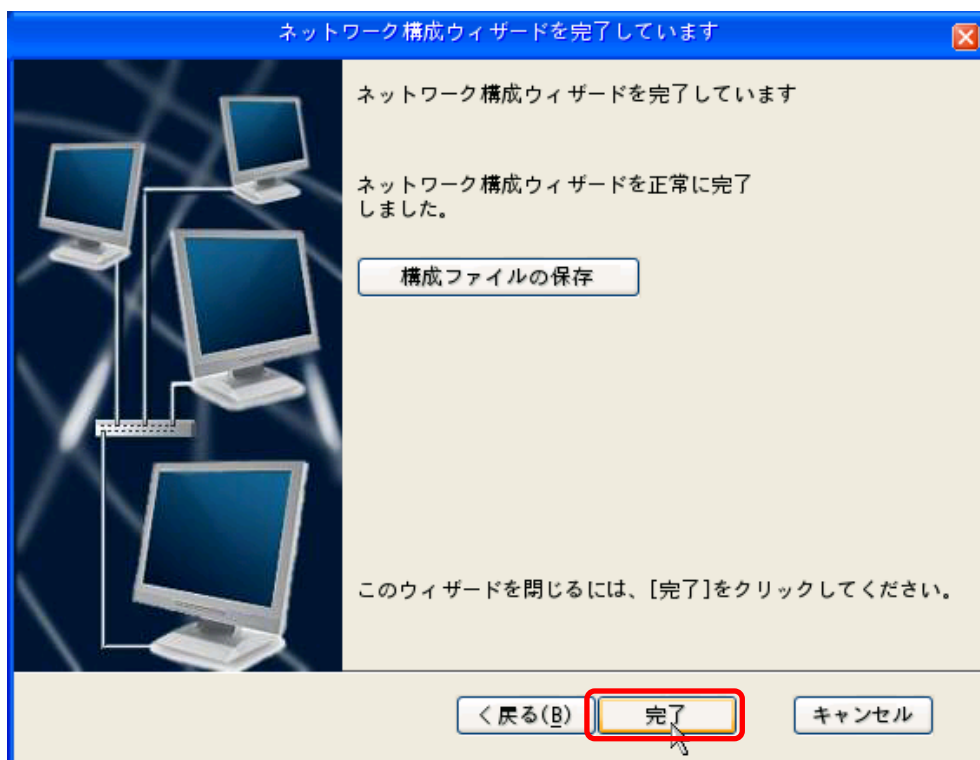
- ⑨ 『マウント設定』画面に戻るので、内容を確認して[OK]ボタンをクリックします。  
ネットワークドライブにアクセスする際にユーザ名とパスワードが必要な場合には、[ユーザ名]欄と[パスワード]欄に適切なユーザ名とパスワードを入力してください。



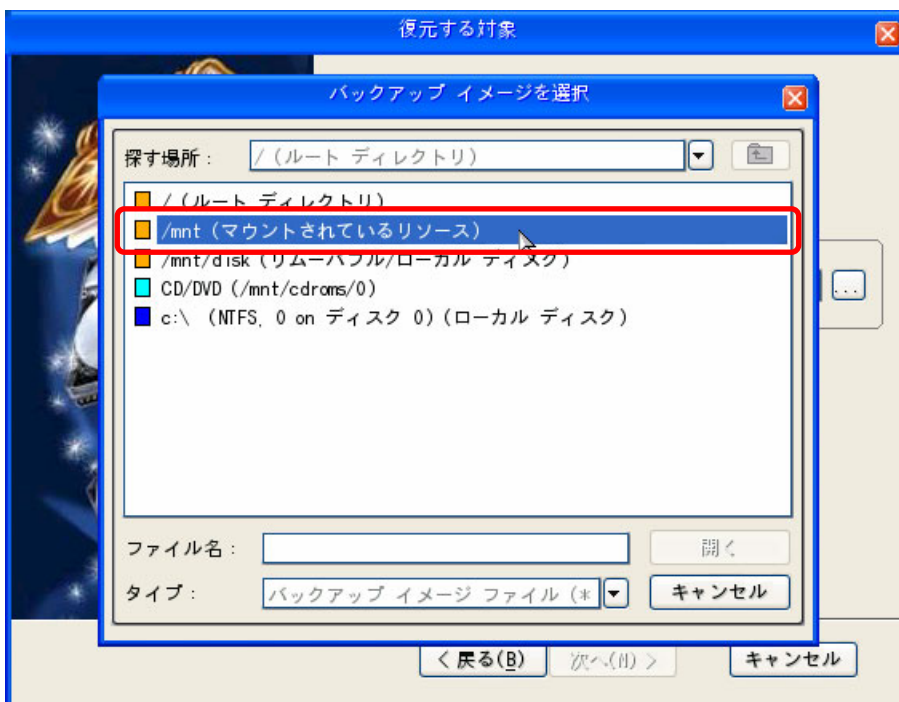
- ⑩ 『ネットワーク構成の設定』画面に戻るので、ネットワークドライブのパスとマウント ポイントを確認して[次へ]ボタンをクリックします。



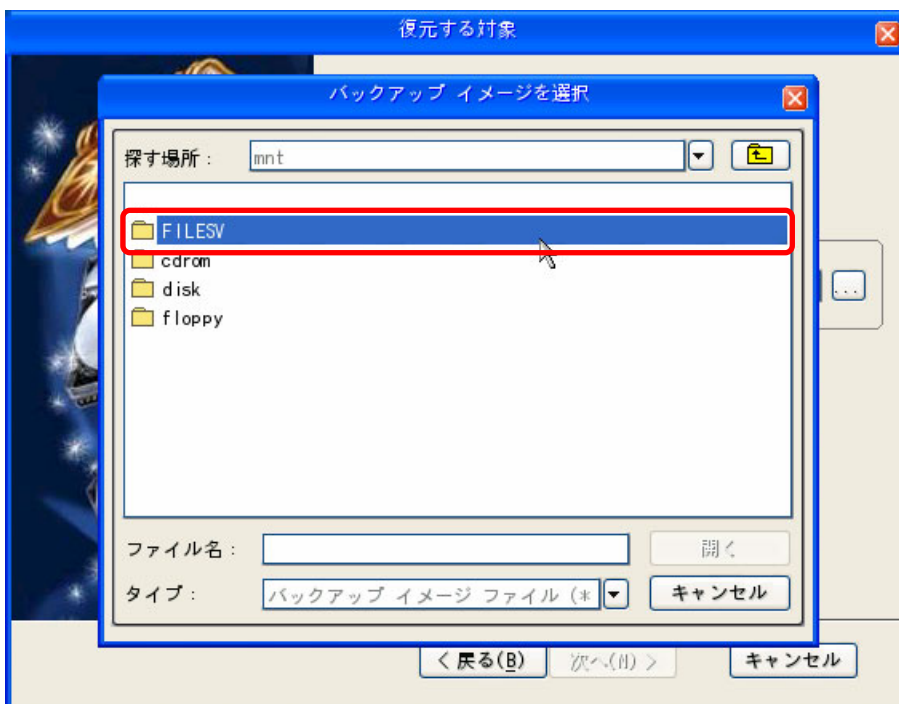
- ⑪ 完了画面が表示されるので、[完了]をクリックします。



- ⑫ LB ドライブワークス 9 製品 CD のメインメニューに戻ります。(2)-①の『クイック復元ウィザード』の手順でマウントしたネットワークドライブにアクセスできるのか確認します。『バックアップ イメージを選択』画面では、『/mnt (マウントされているリソース)』を選択します。



- ⑬ 先ほど選択したネットワークドライブのマウント ポイントのパスが表示されるので、フォルダ内にアクセスできるのか(内容が参照できるのか)確認してください。



以上で、確認作業は終了です。[キャンセル]を2回クリックして、メインメニューに戻ります。CDを取り出し、メニューから[再起動]を選択します。

以上で確認作業は終了です。ご購入をご検討頂きますようお願いいたします。